

人間と生命 (Humanity and Life)

自己分析の心理学 (The Psychology of self-analysis)

山本 真由美・教授 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

2単位 前期 水 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目: 『人間と生命』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『心理学』)

【授業の目的】 本授業では、心理学という学問を通して自己について考えることを目的とする。以前から「持続可能な社会」、「共生社会」と言われている。そのような社会を目指す個人として、心が豊かな人間であることが求められる。まず、人間の知覚的特徴、認知的特徴、記憶の特徴、思考の特徴、パーソナリティ特徴、発達特徴、社会との関係などを知り、その上で自己について考える。

【授業の概要】 本講義では、以下の視点に基づいて授業を進める。(1) グループを作り、グループ内でインタビューを相互に実施し、その内容を全員が発表する、(2) 授業時に説明した内容に基づき、グループで討議する、(3) その内容を各自レポートにまとめる、(4) グループで話し合った内容をまとめる。

【キーワード】 アイデンティティ、自己理解、自己分析、自己と他者

【到達目標】

1. 自己理解でき、自分のことを説明ができる
2. 自分から見た他者について説明できる
3. 心理学の知覚、認知、記憶、パーソナリティ、発達について説明できる

【授業の計画】

1. ガイダンス
2. グループ分け検査実施 (パーソナリティ検査)
3. グループ発表、他者紹介とは、インタビュー実施、レポート (1)
4. 発表方法について、グループ発表、他者紹介①
5. 1. 人間は周りの世界をどのように捉えるのか (認知)
6. 心理検査から自己を見る グループ討議とまとめ、他者紹介②
7. 2. こころの構造について (パーソナリティ)
8. 心理検査から自己を見る 他者紹介③ レポート (2)
9. 3. 自己と他者の関係について
10. 心理検査から自己を見る グループ討議とまとめ、他者紹介④
11. 心理検査から自己を見る レポート (3)
12. 4. 発達について、他者紹介⑤
13. 心理検査から自己を見る レポート (4)
14. 心理検査から自己を見る 他者紹介⑥
15. 期末試験

16. レポート返却、全体総括

【教科書】 特に使用しない。適宜資料を配付する。

【成績評価の方法】 課題レポート (80%)、グループ討議と発表 (20%)

【再試験の有無】 なし

【受講者へのメッセージ】 グループ単位で授業を進めるので、途中で授業を放棄しないようにしてほしい。グループの中で何か一言でもいいから発言することを心がけてほしい。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220736>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】

⇒ 山本 (3s06, 088-656-7192, yamamoto@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL